

自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に基づきケアを組み立てている		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に掲示している		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の行事に参加し、共に暮らす場として理解を図るよう取り組んでいる		地域推進会議が、開催できていない、今後は取り組みたい
理念と共有 3項目中 3 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時等、挨拶や立ち話が頻回にある。近所からの頂き物も多い		ボランティアの訪問時、演芸等は近隣のお年寄りにも声をかけていきたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運動会、夏祭り、春祭り等交流している。		シルバーフェスティバル等、地域行事に参加できる限り参加している。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	憩いの部屋の地域開放や、夏祭りを主催し地域の人たちに喜んで貰っている		
地域とのつきあい 3項目中 3 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全員がチェックし、話し合いの場をもっている。意見を取り入れて改善にむけている		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域防災について、ホームだけでなく、地域ぐるみの取り組みとすべく、炊き出し等の訓練の場にしたい等自治会に提案。	○	避難所までいけない人達のための場の提供、「憩いの部屋」
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	推進会議に来ていただき一緒に話し合いの場を持ったり、ホームたよりを届けている。		市との連携があまりできていない
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員に社会福祉士がおり、一人は成年後見人として活躍していることから、職員会議等を利用し活用について学び、実践している。		制度の説明をし。実際に入居者の1人が、成年後見制度を利用されている。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修したり、防止に努めている。暴力だけでなく言葉の虐待があることを意識し、向上に努めている。	○	身体虐待はないが、日常的な認知症の人の様々な行動障害に、つい言葉が荒くなる時がある。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解、納得していただけるような説明に努めている		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が重度化しており、言葉として通じにくい場面が多々あるが、耳を傾け、反映させている	○	軽度の利用者は携帯をもっており、外部に自由に意見をいえる。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月のメッセージ、写真などの送付、面会の都度報告している。		家族に職員の人事等についても報告、たよりで発信している。
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会がある。利用料を手持ちして下さるので、月1回は最低でも意見を聞くことができ反映させている。		
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	努めている		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	努めている	○	職員の病気や退職が重なる時がある。状況の変化に合わせて調整している。
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	単独法人なので、退職はあっても移動はない。退職時は送別会を開くなど配慮している。		
理念を実践するための体制 7項目中 5 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公的機関主催の研修や、部会の研修にできる限り参加している。		ミーティングで研修会参加の報告、新しい情報等を報告しあい、リアルタイムに対応している。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や、他の会合に積極的に参加し、意見交換し取り入れている。		グループホーム部会の交流会等に来るだけ参加し、質の向上に努めている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	一度に全員は無理なので5から6人のグループにわけて、食事会を計画実行している。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		○	職員の努力や実績、勤務状況を正しく把握するため、ホームで一緒に働く時間を作りたいと考えている。
人材の育成と支援 4項目中 2 項目					
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の馴染みの人に話を聞いたり、近所の人のお話を聴いたり、本人を交えて話す機会を持っている		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人、家族の希望や思いを受容し、理解するよう努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、関係者が当方を訪れ、他の事業所も見学し、利用者の納得が得られたら双方で再度話し合いを持っている。		いきなり入所ではなく、家族と共にお茶やレクリエーションなどに参加して貰い、なじみの時間を持っている
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族の希望を聞き、都度実践している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事、手仕事、おしゃべり等、場面場面で、共に学びあい、共に暮らす姿勢を大切にしている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には食事やお茶等を共にして頂き、自室で一緒に過ごして頂くようお勧めしている。		母の日には、家族からのカーネーション、誕生日にはお花や、本人のなじみの店のお菓子を買って持ってきてくださる
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いているように支援している	家族の協力の基、見学や行事へ参加したり、新たな情報を頂き、お互いの関係を深め合っている。		外出予定がある場合は、前もって家族に連絡し、一緒に参加してもらえようよびかけている
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由な面会と、促しによって支援に努めている		老人会の知人に会いに行ったり、家族に話し連れて行ってもらったりしている
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の声の掛け合いや、食事の時の座席の移動等で、多くの支えあいができるよう努めている。		故人の月参りの日、5から6人がその人の部屋に集まり、僧侶の話を聞いたり、一緒に話し合ったりしている関係を支えている
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された方で、希望される家族にはホーム便りを送付している。		三回忌をしました、一周忌を終えて挨拶に来てくださったり、便りをいただいたりしている。
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中6 項目					
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話し合いの困難な人は、動作をみて利用者本意に努めている。	○	利用者本位に努めているが、コミュニケーションの取れない人の、本意を本当にくみとれているかどうか。不安でもある。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	コーヒータイトム等、折りある毎に回想を楽しんでもらい話題の中から把握に努めている。		家族にセンター方式に記入してもらいアセスメントに努めている。自伝を自分で書いてもらったり、折りに触れ、家族や知人に生活歴を聞いている
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	週一回のミーティング、カンファレンス、必要時のカンファレンスで把握に努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 2 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランのモニタリング、見直し、特変時のカンファレンスと家族への連絡、それぞれの場での出た意見を取り入れケアに反映させている。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	2人のケアマネージャーが入退院を繰り返して介護計画の見直しは下半期は十分とは言い難い。	○	3ヶ月毎に状態変化時には対応出来る様に努める。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別台帳に記入、申し送り、日誌等を詳細に記し、情報を共有しケアに反映させている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊、日帰りとも自由、食事も家族と共に喫食も出来る等、規則に縛られない良さを活かした支援をしている		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の希望や必要性があれば、行政の人達に来ていただき、協力しながら支援している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所との合同集会に参加したり、地域の事業への参加を支援している。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用者に権利擁護事業を使っている人がおり、連携はかなり密にとれている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近くの開業医の医師と密な連携がとれている。適切なアドバイスをいただき支援を受けている。		往診をして貰っている。緊急時の24時間体制で連絡がとれる
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している		○	精神疾患を伴う人は専門医との連携はしっかりとれているが、認知症の場合は、診断後は、専門医とは特に密な連絡は少ない
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が非常勤だが勤務している。また、理事の中に保健師、看護師がおり、健康管理や医療活用の支援を受けている		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	重度の利用者で骨折された人が2週間で退院の支援とホームで手引きで歩行可能になる支援をおこなっている。	○	左記のようなホームでリハビリを行い、手引き歩行可能になったが、こうした現状の中で対応に苦慮している、
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族会で、ターミナルについては何度も話し合いを重ねており、双方方針を共有している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームでは、今まで4人の利用者の終末期を見させていただいた。家族、医師との連携の中で最後の日々を見取ってきた。今後もチームとしての見取り支援を検討している。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	かつて二人の利用者が特養へ転居されたが、十分な話し合いに努めた		
地域資源との協働 10項目中 8 項目					
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	入室時は必ず声かけする。もしくは一緒に入る。個人の情報は承諾なしに洩らさない等の配慮をしている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その都度、声かけして自己決定できるように配慮している。	○	集団生活の中ではつい一緒に行動してほしいということから支持的な場面がでてしまう。
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	コーヒータイムに「今日は何をしますか」と訪ねたり、日課の相談をしている。	○	集団生活の中で、一人ひとりのペースに合わせられてるとは言いがたい面もある。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 1 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容師が二ヶ月に1回来訪してくれるので希望を伝えながら整えて貰っている。衣類も一緒に買い物にいつている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化しミルキングの人もいるが、なるべく形を整え、見た目に配慮している。季節の野菜を取り入れている	○	重度化に伴った食事の形態を家族と医療と相談しながら行っている
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一緒に買い物に行った時に、好きなものを購入してもらっている		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を職員間で共有し活用している。サインも見逃さないよう配慮している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴希望に出来る限りあわせている。夕食前に入浴となるが不平や不満がないので出来て入ると判断した。		入浴希望者は毎日入っている。
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	希望にあわせて、あるいはその場の雰囲気ですわがでるの転寝、部屋でのお昼ね等、支援している。		個々に、自分で休息をとっている
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの得意とすることを役割とし、家事、手作業、洗い物等楽しんでしてもらっている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	能力のある人にはお小遣い帳をつけてもらっている。		可能な方は自分で財布を持って買物時や、外食時、自分で支払っている。
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	新聞やテレビ等いろんな方面から情報を得て、外出の機会を楽しんでいる		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域の催しやお能など本人や家族の希望で行っている。居酒屋や、喫茶店にも希望があれば行っている		温泉に行きたい希望があるが、実現できていない
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1人だが携帯を持っている。自由にやりとりしてもらっている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	どんな時間帯でも、来訪されると一緒に過ごすようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守りを強化し、拘束はいつさいしていない。		
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠、日中は開いている。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	マッチは置いていないが、包丁やはさみ等、必要なときには自由に使えるようにしている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、誤嚥等にはすぐ対応できるよう日ごろから話し合っているが、防災訓練はできていない。	○	火災、防災訓練を早急に行う。
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に訓練はしていないが、折にふれはなしあっている。	○	定期的に、医療関係者から応急手当を学ぶ
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	元彦根市の消防所長さんに、緊急時の対応を学んだり、近隣の人達に、応援を依頼している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	月1回の便りの中で、状態報告をし、場合によっては話し合いの場を設けている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定や、歩行状態から体調の変化を読み取り、職員間で共有できるようにしている。		むせ、のど詰り等、食事状態の変化には特に気を遣っている
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に保管、用法の確認がすぐ出来る。臨時薬は連絡ノートに書き、薬箱にもメモをつけている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、牛乳をのみ、ラジオ体操をする。繊維質の多い野菜や果物の摂取を心がけている。		コントロールの必要な人は医師と相談し、状態に合わせて服薬してもらっている。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、義歯の消毒、舌ブラシの活用、ふき取りを行っている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	長年重、形態、栄養バランスを考慮して支援している。偏食の人にも意見を聞き配慮している食後、外出後、入浴後、おやつ時、就寝前水分摂取している		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いの励行、外出後のうがいの励行に努めている。		外出時手洗いうがいを励行している。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	つくり残しはしない。毎日ふきん、まな板の消毒をしている。		包丁、まな板を食品に応じて使い分けている。行政のマニュアルにしたがっている。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	生活観のある玄関周りの環境整備に心がけている。		開放感がかんじられるよう工夫している
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	鍋の触れる金属音がないように配慮している。玄関には常に生花を飾り、季節感を楽しんでもらっている。		近所のひとから季節のお花をいただき空間に飾っている
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやベンチを置いている。仲の良い人同士並んでおしゃべりしている姿が見られる。		仏壇や、自分の好きな鉢植えの花を自室で育てている人もいる

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、なじみの家具等を持参してもらっている。本人あるいは家族が配置している。		家族のメッセージを自室に貼っている
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節は利用者に聞きながら調整している。人の出入りが多いのでそれだけでも換気になるが、必要に応じて窓をあけている。		温度計を各所に設置している。冬季は加湿器を使用している
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	2階建てなので、重度化した現在では、階段の利用時見守りが必要となってきた、安全とはいいがたい部分がある。	○	建物の老朽化と、利用者の重度化がかさなり、ハード面での工夫が必要である。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	分かる力、出来る力を引き出し、してもらい感謝することと、しやすい環境や道具を用意するよう工夫している。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	広くておおきな洗濯物干し場は、皆で作業ができ、達成感を味わえる。広い玄関先も活用して体操している。		外回りが汚れていると自分から掃除してくださる人もいる
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 2項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) ↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) ↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない

	未所の理解や心算が伸びている	④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

特になし

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	5 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	2 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	2 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	8 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	1 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	6 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目

—2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

2 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5 項目 / 5項目) について

概ねできていると思う。

9人の利用者中、5人が要介護度5という重度化の中で、加えて正職員が病気で長期入院となり、職員の手が不足すると、つい安全優先となり、理念のゆったりとその人を受け止めるというゆとりがなくなってきているように感じられる。

運営者は、職員のストレス軽減の環境づくりに努めたいと、常に考えているが職員にもそれぞれ個性があり現在何もできていないと反省している。職員の勤務状況や職員個々の努力、実績は把握しているつもりである。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2 項目 / 2項目) について

利用者とその家族の方たちとの信頼関係の構築なくしては、グループホームの意義が薄れてしまうと考えている。認知症という病気から来る不安を、温かく受け止めること、このホームに来て良かったと思っていただけるように、関係性を基とした支援を心がけている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4 項目 / 4項目) について

重度化して、会話が通じにくくなった人達とのコミュニケーションは難しい。当方の勝手な思い込みで対応していないかと不安になることが多々ある。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (6 項目 / 7項目) について

利用者に声かけし、意見をきいているが、意見の言えない人、どういっていいかわからない人は、「no」も言えない。集団の中で、一緒に部屋を移動し、一緒にお茶を飲み、集団の中の1人になっているのではないかと危惧することがある。一人ひとりのその人らしさを現在の状況に合わせて再考することで、支援をしていきたい。

V サービスの成果に関する項目について

介護度1～5の人まで居て、その内寝たきりの人、寝たきりに近い人が3人いらっしゃる。全員での行事や、皆で何かを楽しもうということがしにくくなってきた。又、重度化の中で、寝たきりの人が何のサービスを求めているのかわからないことも、職員のジレンマである。成果について図ることは難しい。



☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日 20年11月30日

前回評価年月日 19年10月01日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
1-5	2	人材の育成と支援	21年1月～10月まで	介護技術は確実に、コミュニケーションはやさしい言葉と笑顔でゆっくりと、対応できるよう、対人援助のスキルを育成していきたい 一人ひとりの思いをうけとめ、集団に流されないようにする。 2階建てのため、火災等起きたときの対応を職員がしっかり身につけ、少しでも被害を小さくするための方策を考える。消防署の人達に教えていただきながら、必要な訓練をする。		21年
4-1	1	1人1人の尊重	同上			11月
		防災訓練	同上			